

薬 剤 名	処理法	適用地域	処理時期	使用量 /a	適 用 土 壤	使 用 上 の 注 意
4. NP-48 水溶 (つ づ き)						処理：広葉雑草に有効な既登録土壌処理剤を使用する。 2) 土壤水分が高く、土塊が大きいのので、碎土・覆土を特にていねいに行なう必要がある。
5. SL-236 乳	茎 葉	全 域	イネ科雑草 3～5 葉期 〔但し、寒地は〕 4 葉期まで〕	m/ 10～20	全 土 壤	
6. トリフルラリン乳 + リニユロン水和 (現地混用)	土 壤	寒 冷 地	播種後出芽前 (雑草発生前)	m/ 15～25 + g 10～15	火 山 灰 土 沖積 壤土～埴埴土	1) 単剤の使用基準を守る。 2) 土壤水分が高く、土塊が大きいのので、碎土・覆土を特にていねいに行なう必要がある。
		温 暖 地			沖積 壤土～埴土	
		暖 地			沖積 砂壤土～埴土	
7. NIP 乳	土 壤	温 暖 地	播種後出芽前 (雑草発生前)	m/ 100～120	沖積 壤土～埴土	1) 土壤水分が高く、土塊が大きいのので、碎土・覆土を特にていねいに行なう必要がある。

昭和55年度水稻・畑作関係 生育調節剤試験成績概要

財団法人 日本植物調節剤研究協会 技術部

昭和55年度水稻・畑作関係生育調節剤試験成績検討会は、昭和55年12月12日(金)、国鉄労働会館(東京都千代田区丸の内1-11-4)において開催された。その結果の概要は、次の通りである。

水稻作関係生育調節剤試験は、作用性 7 剤(15点)、適用性 7 剤(38点)について実施された。このうち、新規薬剤は倒伏防止および育苗時の徒長・老化防止をねらいとする BAS-106 水和剤と PR-112 粒剤、低温条件下での登熟歩合の向上についての SZ-8027 液剤、籾の乾燥効果についての R-452 乳剤の 4 剤で、それぞれ有望と考えられるがさらに作用性の明確化あるいは適用条件の検討が必要とされた。タチガ

レン粉・液剤は、前年度通りの使用基準で実用性が確認され、BA 液剤は温暖地への適用地域拡大が可能となった。また、NK-191 粉剤および GF-030 液剤は、さらに適用条件の検討が必要と判断された。

一方、畑作関係では作用性 1 剤(1点)、適用性 3 剤(6点)の試験が行なわれた。C-MH 液剤については、馬鈴薯の貯蔵中の萌芽抑制について実用化可能と判定され、使用基準が作成されたが、CaCO₃ 水和剤(馬鈴薯)と GF-030 液剤(てんさい)は効果が不十分で、継続?と判定された。

なお、薬剤別の判定結果および実用化薬剤の使用基準は、次表の通りである。

昭和 55 年度 水稲・畑作関係生育調節剤判定結果および使用基準

(1) 水 稲 関 係

薬 剤 名	有効成分・含有率	試 験 目 的	判 定	実用化に対する処理法	継 続 の 内 容
1. アビオンC乳	パラフィン 36% 脂肪酸他 64%	・倒伏防止効果。 〔作用性〕	継?		・効果不十分。 ・試験条件の明確化必要。
2. BAS-106W 水和	成分未公開 5%	・倒伏防止効果。 〔作用性〕 ・健苗育成、とくに徒長防止および老化防止効果。〔作用性〕	継		・有望、初年目。作用性の明確化。
3. タチガレン粉 →タチガレン液	ヒドロキシイソキサゾール 粉：4% 液：30%	・粉剤と液剤の組み合わせ処理による健苗育成、とくに老化防止および活着促進効果。〔適用性〕 ・粉剤と液剤の組み合わせ処理による健苗育成、とくにムレ苗防止効果。〔適用性〕	実・継	・粉剤と液剤の組み合わせ使用。 ・粉剤(4%)：箱当り6～12gを播種前に床土に混入。 液剤(30%)：500倍液を箱当り500mlを1～2回灌注(播種後2週間目位および移植前2～3日)。 ・適用地域：全域	・粉剤の薬量増加は苗劣化するおそれがある(液剤の灌注処理を励行する)。 ・徒長防止効果については継続検討。
4. タチガレン液	ヒドロキシイソキサゾール 30%	・稲登熟期の低温条件下における登熟歩合の向上。〔作用性〕 〔適用性〕	実・継	・出穂直前に500～1,000倍液を10a当り150l処理。 ・適用地域：温暖地東部以北。	・作用性の明確化、効果の変動要因の解明。
5. PR-112 粒	成分未公開 0.2, 0.4, 0.8%	・徒長防止、老化防止、根伸長促進、活着促進効果。〔作用性〕 ・倒伏防止効果 〔作用性〕	継		・有望、初年目。作用性の明確化。
6. NK-191 粉	成分未公開 10%	・健苗育成、初期生育の調節(根伸長促進、徒長防止効果)。 〔適用性〕	継		・効果は高く有望であるが、成分未公開(根上り対策を考慮)。
7. B A 液	ベンジルアミノプリン 3%	・健苗育成(とくに老化防止、活着促進、苗質向上効果)。 〔適用性〕	実	・イネ1～1.5葉期に10～20ppm液を箱当り50ml処理。 ・適用地域：全域。	・温暖地の適用地域拡大可能。
8. GF-030 液 (グリーンナー)	マイクロクリスタリンワックス 10%	・ムレ苗防止効果、ムレ苗発生後の回復効果、苗質向上。 〔適用性〕	継		・適用条件の検討(処理時期、被害)。

薬 剤 名	有効成分・含有率	試 験 目 的	判 定	実用化に対する処理法	継 続 の 内 容
9. SZ-8027 液	成分未公開 17%	・稲登熟期の低温条件下における登熟歩合向上。 〔作用性〕	継		・初年目、成分未公開、作用性の明確化。
10. R-452 乳	2,3-ジハイドロ -5,6-ジメチル -1,4-ジチン -1,1,4,4-テトラオキシド 24%	・稲刈取時の初乾乾燥効果。 〔作用性〕 〔適用性〕	継		・有望、適用条件の検討（処理時期、使用量）

(2) 畑 作 関 係

薬 剤 名	有効成分・含有率	試 験 目 的	判 定	実用化に対する処理法	継 続 の 内 容
1. CaCO ₃ 水和 (クレフノン)	炭酸カルシウム 95%	・馬鈴薯の徒長防止による収量増加、デンプン価向上効果。 〔作用性〕 〔適用性〕	継?		・効果不十分。
2. C-MH 液	マレイン酸ヒドラジドコリン塩 39% (MHとして20%)	・馬鈴薯の収穫前茎葉散布による貯蔵中の萌芽抑制効果。	実・継	・馬鈴薯の収穫前2～3週間に80～120倍液を茎葉散布。	・最適濃度、処理時期についてはさらに検討。
3. GF-030 液 (グリーンナー)	マイクロクリスタリンワックス 10%	・移植てん菜の活着促進、初期生育促進効果。	継?		・効果不十分。

編 集 後 記

冬ごもりをしていた虫が、あまりの暖かさにつられて地上に這いだしてみたら、日本列島は本年最低気温を記録する寒気団に覆われ、又もや冬ごもり……したかと思うと春一番が吹きあれる。女心と秋の空……いや春の空かも知れぬが、とにかく春は天候・気温ともに変化がはげしい。春を告げる雑草は、はや緑で裸の地面に衣を着させつつあるが、経済界は予想以上の不況が長びき、金属・繊維・パルプなど、在庫調整が当分続きそうで、何時回復するのか目処さえ立たないという。第二次石油ショックを円高によって吸収したまではよかったが、逆に値下

がりするので大慌て……これからの農業は、経済界の二の舞いを繰り返してはなるまい。

財団法人 日本植物調節剤研究協会
東京都台東区台東1丁目26番6号
電話 東京(03) 832-4188(代)

昭和56年3月発行

植調第14巻第12号

¥250(送料140)

編集人 日本植物調節剤研究協会専務理事 吉沢長人
発行人 植調編集印刷事務所 広田伸七

東京都台東区台東1-26-6 全国農村教育協会内
発行所 植調編集印刷事務所
電話 東京(03) 833-1821番(代)